

新宿連絡会 NEWS

新宿連絡会（新宿野宿労働者の生活・就労保障を求める連絡会議）発行

〒111 東京都台東区日本堤1-25-11 山谷労働者福祉会館気付

☎03-3876-7073/030-818-3450

カンパ送り先：郵便振替口座00170-1-723682「新宿連絡会」

vol.6 1998/8/31

8/16 全都から1000人の仲間が集まった！

新宿夏まつり大成功！ 秋の闘いへ！

8月16日（日）、新宿中央公園で今年も新宿夏まつりが開催されました。第5回目となる今年の新宿夏まつりは、二つの新たな目標を持って取り組まれました。ひとつは2月に「ダンボール村」がなくなって以降、施設（自立支援センター）や公園、路上などに散らばった新宿の仲間が再会できる場を作ること。もうひとつはメーデー以来の全都野宿労働者統一行動実行委員会（全都実）による運動の新たな展開の中で出会った都内各地の仲間が一堂に集い、「仲間のつながり」を実感できる場を創出することです。新宿の野宿の仲間はもちろん、渋谷でこの春にできた野宿者の当事者団体「のじれん」の仲間も参加した今年の夏まつり実行委員会では、こうした事前の討議に時間をかけ、野宿の仲間が主人公となる「仲間のまつり」を作るために準備を進めてきました。

前日の15日（土）には、午後6時から中央公園の炊き出しの場所において前夜祭が行われ、この一年間に新宿や各地で亡くなった仲間を追悼する会が開かれました。死者を追悼するためのパントマイムも行なわれ、集まった100人近い仲間は、2月の火災で亡くなった4人の仲間を含む多くの仲間の無念の死を心に刻んでいました。

まつり当日は朝早くから60人以上の仲間が会場である中央公園ちびっこ広場に集まり、会場設営に汗を流します。今年は山谷での飯炊きに加え、会場での共同炊事も行われ、多くの仲間の手によって900人分の肉じゃがが作られました。昼からは渋谷、池袋、東京駅周辺、山谷の仲間も合流し、新宿の仲間と共に弁当のパック詰めなどの共同作業を担うとともに、囲碁将棋、散髪、昔の遊び、綿菓子配布、全都行動のビデオ記録上

(前ページより)

映などの各コーナーで午後のひとときを楽しみました。

まつりは午後5時の大声大会からメインステージに中心が移っていきます。各地から集まった仲間が「青島のバカヤロー！」などと叫んで声の大きさを競った後は、各団体(全都実新宿連絡会、のじれん、山谷争議団/反失実)のアピール、配食へと続いていきます。900人分の弁当とビールを配り終え、全都の仲間が集うことができたことを祝って新宿の仲間が乾杯の音頭をとりました。そして、仲間にも馴染みの深い新谷のり子さん、今年の夏まつりにも登場したソウルフラワーモノケサミットが登場、まつり気分を高めていきます。ソウルフラワーは事前に新宿・渋谷でとったアンケートに基づき、仲間の人気のある昔の民謡や労働歌を今風に演奏。昨年以上の拍手喝采を仲間から浴びていました。

その後、各地区対抗のカラオケ大会、生演奏による盆踊りと進むにつれて、夏まつりは最高潮に達していきました。

今年の新宿夏まつりには、都内各地で野宿している仲間、自立支援センターにいる仲間、ドヤやアパートで生活保護を取って生活している仲間など過去最高の1000人の仲間が集まりました。この仲間のつながりこそが私たちの武器であると言えましょう。夏まつりの成功を踏まえて全都の野宿の仲間は秋の対行政闘争へと進んでいきます。

第二回対都団交へ！

4月に開設された二つの自立支援センター(さくら寮、北新宿寮)では、現在、約100人の仲間が就職活動に励んでいます。しかし過去最悪の失業率という逆風の中、就職が決定したのはまだ2割程度にしかありません。特に50代、60代の高齢の仲間にとって仕事探しは困難を極めており、職安に通って

自分で仕事を見つけるという現行のプログラムの限界が明らかになってきています。

新宿連絡会と寮の仲間は一貫して入寮者への雇用対策を求めてきましたが、8月27日、改めてこの問題及び施設の閉鎖問題(さくら寮10月末、北新宿寮9月末)に関して代表者による交渉を都福祉局と行ないました。交渉には連絡会、各寮の有志が参加しました。

施設の閉鎖問題に関して都は、「北新宿寮が閉鎖後、残っている人はいったんさくら寮に入寮する。」「さくら寮の期限の10月末には事業として区切りをつけるが、その後のことについては検討中。」と回答しました。寮の仲間は「10月末の段階で就職が決まっていなかった人を放り出されては困る。途中で放り出さないという当初の約束事項を守れ。」と追及し、約束事項に変更がないことを再度確認しました。そして10月末以降の処遇については9月半ばまでに具体策を提示することを約束させました。

一方の就労対策について都福祉局は、「労働経済局との協議もあり、法的にも難しい。」などと述べるばかりで具体的な打開策を提示しませんでした。代表団は就労支援の強化を強く要請してきましたが、この問題は引き続き持ち越されます。

都福祉局は7月に人事異動を行なって担当の参事・課長が交代しており、この日の話し合いは新体制となって初の顔合わせになりました。しかし今のところ、行政の対策は足踏み状態になっています。不況による求人倍率の低下という、入寮者をとりまく現実に即応できる施策が求められています。

都福祉局と全都野宿労働者統一行動実行委員会(全都実)は、9月18日に第二回目の団体交渉を行なうことで合意しました。この交渉では寮の仲間と野宿をしている仲間が一丸になってセンター本格実施の早期開設と入寮者への効果的な就労対策を求めていきます。夏まつりに続く秋の闘いにもご支援、ご注目をお願いします。

1・24控訴審裁判 いよいよ大詰め！

96年の1・24新宿西口強制排除事件の控訴審公判（一審東京地裁で無罪判決が出るも検察が控訴）がいよいよ大詰めを迎えています。この夏の間7月15日と8月28日の二回の公判が開かれました。

▼7/15 第四回公判（弁護側証人尋問）

弁護側証人として日本福祉大学教授の笹木俊一さんが出廷しました。笹木さんは、ご自身が深く関わっている名古屋の林・生存権訴訟（日雇労働者の林さんが失業による生活保護を認めない福祉事務所の対応を違法だと訴えた裁判）を例に挙げ、野宿労働者に対する生活保護の運用が不当に制限的であって憲法の理念が生かされていないことを詳しく説明されました。そして野宿労働者が社会福祉などの制度にアプローチしようとしても「権利が行使できない」「選択肢が閉ざされてしまっている」現状があり、その点を抜きにして青島都知事のようにこの問題を「個人的な問題」に還元してしまうのは、「制度の持っている問題性を見ていく見方を閉ざしてしまう」「根本的に間違っている」考え方であると鋭く指摘されました。

そして社会福祉学会などの学会の動向や国連などによる貧困撲滅をめざす国際的な動き（発展途上国のみならず先進国内の問題も視野に入れた取り組み）を紹介されながら、この問題は「生存権の考え方が我が国においてどれだけ健全な形で浸透しているかということが問われる試金石である」と指摘。その上で行政施策の方向性を指し示した東京地裁判決を評価し、生活保護の制度を十全に活用した上で、さらにより良い制度を作り上げていくことが行政に求められていると主張されま

した。

笹木さんの証言は「生存権」をキーワードにダンボールハウス撤去の不当性と野宿に追い込まれる仲間の実状を詳しく説明されたものでした。裁判所は野宿労働者の生存権をどう捉えるのかが注目されます。

▼8/28 第五回公判（被告人質問）

「被告人」とされている笠井・本田両君に対する質問が行なわれ、それぞれ、1・24における東京都の暴挙は絶対に許されないこと、ダンボールハウスをゴミとして扱うのは不当であること、多くの仲間が野宿を強いられている現状があることを訴えました。これで実質的な審議は終了し、次回は弁護側、検察側双方による最終意見が行なわれます。大詰めを迎える裁判闘争にご注目！

★次回公判

第六回公判 10月14日（水）1:30～
東京高裁第725法廷にて

日常活動の記録

*パトロールで出会った仲間の数（日曜夜、新宿駅周辺）

| | | | | | |
|------|-----|------|-----|------|-----|
| 7/5 | 472 | 7/12 | 460 | 7/19 | 453 |
| 7/26 | 466 | 8/2 | 480 | 8/9 | 512 |
| 8/23 | 469 | 8/30 | 395 | | |

8/16は夏まつりのためパトロールはなし。

*新宿以外にも毎週水曜夜に高田馬場パトロールを行なっています。また全都実は随時、池袋、東京駅周辺のパトロールを行なっています。

*日曜夜の炊き出しでは毎週約600食が出ています。引き続きお米代のカンパをよろしくお願いします。

「ダンボールアートの巨匠」武盾一郎デザイン

ちょっとシュールな新宿夏まつり Tシャツ

好評発売中！

1枚1500円



前の左胸では小さな虫くんが
自己主張！

《背中側の絵》

今年も作りました、新宿夏まつりTシャツ！ もちろん今年も「ダンボール村の画家」として知られた武盾一郎さんのデザインです。

‘I LIVE HERE.’とのメッセージが込められた夏まつりTシャツをあなたも一枚いかがですか。MとLの2サイズあります。

お申し込み方法：郵便振替用紙に「Tシャツ希望」[※]明記の上、下記口座に枚数分の代金を振り込んでください。サイズの特定もお願いします。入金を確認でき次第、お送りします。（送料はこちらで負担します。）

郵便振替口座：00170-1-723682「新宿連絡会」

また「新宿ダンボール村通信」を定期購読してくださる通信会員も募集しています。「通信会費」と明記の上、上記口座に年会費5000円をお振り込みください。よろしくお願いたします。